

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	1	事業名	公共交通事業	担当部課	市長公室政策秘書課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	6 あえて歩いてみたくなるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款一項目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 「道路運送法」、「公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」			2-1-5 企画費	
	事業開始の背景、経緯等	平成17年3月にリニモが開業し、東西に公共交通の基盤軸が形成された。リニモ、名鉄バス及びNーバスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていくため、住民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公共交通利用者及び公共交通事業者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通の利用を促進し、また、持続可能な交通体系を維持する。

項目	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
			(2016)	(2017)	(2018)	(2019)	(2020)
事業費(A)	千円	予算	421,191	4,956	5,508	4,155	3,927
		決算	420,686	4,849	4,825	3,926	
人件費(B)	千円	決算	8,020	9,263	10,333	13,555	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	428,706	14,112	15,158	17,481	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	-	-	-	-	-	-	-
対象あたりコスト(C/D)	千円	-	-	-	-	-	-

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
市内公共交通の利用者数	人/年	目標	-	-	-	5,269,000	5,313,000
		実績	-	-	-	5,040,310	

(指標の設定根拠) (数値目標の根拠)
 市内の公共交通利用状況及び利用促進事業の効果把握するため、リニモ、名鉄バス、Nーバス各交通機関の一年間の利用者数を指標とする。
 第2次長久手市地域公共交通網形成計画における市内公共交通(リニモ、名鉄バス、Nーバス)の利用者数(令和5年度目標値 5,455,000人/年)をもとに目標値を算出している。
 ※令和2年3月から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各公共交通の利用者数は大幅に減少している。(リニモ:73%減、名鉄バス:76%減、Nーバス:56.6%減 令和2年4月時点利用者数対前年度比) 緊急事態宣言の解除等に伴い利用者数は一部回復が見込まれるものの、当初の目標を達成することは困難であると考えられる。

(前年までに変更した場合はその理由)
 令和元年度以降の目標値については、第2次長久手市地域公共交通網形成計画の目標値と整合を図るため、1日あたりの利用者数から年間の利用者数に変更した。そのため、目標値が大幅に増加している。(以前は1日あたりの利用者数を目標値としていた。)

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 目標値に対し、5%程度減少している。これは、Nーバスのダイヤ改正による利用者の減少、新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛の影響により令和2年3月の利用者数が大幅に減少したことが要因と考えられる。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 平成30年度に策定した第2次長久手市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通応援隊キッズイベントグループによる利用促進事業を実施した。また、市内公共交通の役割分担等について市内関係各課と検討を行った。公共交通応援隊キッズイベントグループの公共交通利用促進の取組が認められ、2019年度「エコ モビリティラフ推進表彰」を受賞した。(エコモビ表彰は、あるいはエコモビリティラフ推進協議会が主催し、毎年「エコモビ」の推進に関する取組を積極的に実施している団体を表彰している。)
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 本市は2035年まで人口増加が見込まれるとともに、大規模な集客施設が建設されたことにより交通量が増加しており、渋滞の原因となる自動車移動からの転換を図る必要がある。

事業を構成する事務事業①	地域公共交通会議事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込	100	100	100	100	100
			実績	156				
(2)	【アクションプラン】 市内各公共交通の利用者数 【単年】	千人	見込	5,269	5,313	5,367	5,411	5,455
			実績	5,040				
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。							今後の方向性	改善・見直した。

事業を構成する事務事業②	地域公共交通会議事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	地域公共交通会議事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
(2)	【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
			実績					
(3)			見込					
			実績					
<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 平成30年度に策定した、「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」で掲げる目標の達成を目指す。ただし、令和2年3月から新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各公共交通の利用者数は大幅に減少している。(リニモ:73%減、名鉄バス:76%減、Nーバス:56.6%減 令和2年4月時点利用者数対前年度比) 緊急事態宣言の解除等に伴い利用者数は一部回復が見込まれるものの、当初の目標を達成することは困難であると考えられる。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 第2次長久手市地域公共交通網形成計画で掲げた将来像の実現に向け、利用者のニーズを把握し、利便性の高い公共交通サービスを提供するために、行政だけでなく、市民、交通事業者が一体となり、みんなで公共交通を育てることによって、地域にふさわしい公共交通を作りあげていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・Nーバスを始めとした本市の公共交通施策体系全体で、適切な受益者負担を求めつつ、一般財源の抑制が図られるよう検討してください。
内部意見への回答		